

Ndasuna

んだすな



都市景観大賞を受賞

～市民と行政が一体となったまちづくり～

小坂町フラワーボランティアの会

11

2005
November

都市景観大賞を受賞

～市民と行政が
一体となってまちづくり～

小坂町フラワーボランティアの会



北秋田市の翠雲公園への視察の様子

私どもは去る10月4日(都市景観の日)に、国土交通省の「都市景観大賞・美しいまちなみ大賞」を受賞しました。この賞は、①美しいまちづくりの機能性・安全性・維持管理性に加えて、個性・調和・魅力等を十分配慮したデザインを持つこと ②行政と住民が一体となって継続的に都市景観づくりを果たしていることの2つを併せもつ機関と団体が対象とされます。平成13年の創設以来、今年が5回目で、全国17地区が受賞していますが、東北では小坂町が初めての大賞でした。

今回“明治百年通り地区”の受賞にあたり、次のような講評をいただきました。「国指定重要文化財である『康楽館』や『旧小坂鉦山事務所』、また国登録有形文化財である『小坂鉦山病院記念棟』や『天使館』などの歴史的建造物が建ち並び、それらがみごとに修復再生され、現代生活の中で生き生きと使われてい

る。通り周辺に点在する多くの近代化遺産も同様に現代に生きている。“活用してこそ文化財”という視点のもとに町民が積極的に取り組んだ事業の成果である。アカシア並木が作る緑陰、フラワーボランティアの会が丹精して育てるクリスマスローズ花壇が、優れた建築遺産をつなぎ、通り全体にわたり大変上品な景観が創出されている。一方、町内で新しく造られている公共施設も大変健全な方向性を持っている。ていねいにデザインされた街で暮らしてきた歴史を持つ人々の中に、まちづくりの基本的精神が自然に育まれたのではないだろうか。」

小坂町は、行政が10数年にわたって明治100年通りを整備してきた実績を持つのに対して、私どもはわずか3年の実績です。全国的な視点での大賞は全く思いがけないことでした。

しかし、これは160名の会員が3,500株ものクリスマ



初めての総会。
最初は20人程の
集まりでした



初めての枯葉の刈り取り作業は雪の中で行われました



最初に行った視察研修会は、クリスマスローズの苗をいただいた高杉種苗(鹿角市尾去沢)



10月には100株程度の植栽と病気になっている葉の撤去作業を行いました



秋に葉を切り取ることは、春一番の花の生長を左右する大切な作業です。青々としてもったいないような気がしますが、葉を残しておく、開花を妨げるため地際から葉を刈り取ります

国土交通省「都市景観賞」のホームページにはまちづくりに取り組む様々な団体等が紹介されています
<http://www.mlit.go.jp/crd/city/plan/townscape/index.htm>

スローズを植栽してきたことの評価と、今後明治100年通りから中央公園への広大な空間を花と緑で満たそうとする“夢”への励ましと受け止めて会員と喜びを分かち合っているところです。

春・秋の新植、夏の視察・交流、秋の落葉寄せと枯葉の刈り取り、四季の花の計画と学習等の事業に取り組んでまいりますが、何よりも「継続は力なり」と考えますので、“楽しく・仲良く・無理をせず”をモットーに、春早くから秋遅くまで花と緑が絶えない空間づくりをしていきたいと思ひます。

(会長/工藤 保)

小坂町フラワーボランティアの会

〔設立/平成13年 会員/160名〕

問 小坂町役場産業課建設班

TEL 0186-29-3910



都市景観の日(10月4日)に東京で、表彰式が行われました。民間と行政が一緒にまちづくりを展開していることが高く評価され、東北初の大賞受賞となりました

小坂町フラワーボランティアの会では
町内外を問わず
会員を募集しています！

年会費500円で、作業に参加できない方でも賛助会員として500円寄付していただき環境美化活動のために役立てております。興味のある方は電話くださると幸いです。

問 小坂町役場産業課建設班
事務局担当/相馬

TEL 0186-29-3910 FAX 0186-29-5481



世界中の人と交流したい!

世界中からやってくる JICA (国際協力事業団) 研修員等と楽しく交流してみませんか? ボランティア登録制度をとっています。興味のある方はご連絡ください。

小坂町国際交流協会 (KIS)

☎ TEL 0186-29-3908
http://www.ink.or.jp/~kis/



キーワード

あなたやあなたの地域の課題や悩みを解決!

あなたやあなたの地域の「あれ?」「どうしよう…」を教えてください。県北のボランティア・NPO 団体の中に解決へつながる活動があります。



読み聞かせをしてほしい!

地域の保育所や小学校、老人ホームやグループホームでの読み聞かせを行っています。定例会は阿仁公民館で毎月第2 (水) です。

読み聞かせグループ「はなしっこの会」

☎ 代表 伴 TEL 0186-82-2366
(活動地域 北秋田市ほか)



預かります! 預けたい!

子育て応援隊! です。緊急時の一時預かりを行っています。また、県の子育てサポーター養成講習会修了生ならサポーターとして登録できます。

子育てサポート

「ぴよぴよサポネット」

☎ 大館市立扇田保育園
子育て支援センター
TEL・FAX 0186-55-3095
(活動地域 大館市)



環境に関心あり! 特に能代山本地域

地域の環境をテーマに活動するボランティア団体などの情報交換や活動支援を目的として設立した「能代山本環境交流会議」。このたび「地域の環境保全活動への若い世代の参加について」をテーマとして能代山本環境交流フォーラム2005を開催。11月17日(木)午後3時30分(能代キャッスルホテル平安閣) 参加できない方でも、関心のある方はお問い合わせください。

能代山本環境交流会議

☎ 事務局 秋田県山本地域振興局福祉環境部(能代保健所)
環境指導課 環境公害班 高橋 TEL 0185-52-4331

強カバックアップ

山本地域振興局
総務企画部地域企画課
県民生活班

杉沢 卓 さん



いつも精力的にご協力くださる方々をご紹介するとともに、今後のボランティア・NPO 活動についてお伺いしました。

Q. こちらの窓口ではどんなことを行っていますか。

A. ボランティア・NPO 活動に対するサポートをはじめ、消費生活や交通事故相談の受付、パスポートの交付、県政情報の提供など、地域の方々に密着した業務を行っています。

Q. ボランティア・NPO 活動の現状についてどのように感じていますか。

A. この地域には素晴らしい団体が数多くあり、それぞれ活発に活動しておりますが、その活動が個々に行われているのが現状ではないでしょうか。少子高齢化が急速に

進んでいるこの地域においては、様々な分野の団体がお互いに協力し合い知恵を出し合って地域づくりを進める必要があると思います。

Q. ボランティア・NPO 活動の今後に望むことを教えてください。

A. これまでの地域づくりは行政が主体となって進めてきた面があり、いわゆる「住民参加」と言われてきました。これからは、地域の方々が自主的・主体的に行っていく活動に、行政側が支援したり参画していく「行政参加」が必要と考えます。現在、県では能代市においてボランティア・NPO が一同に会して今後の地域づくりを考える会議を開催しておりますが、こうした機会を最大限に活用してお互いの活動の理解と連携を深め、ボランティア・NPO が今後の地域づくりの中核として頑張っていたいただきたいと思っています。

イベント情報

11月20日(日)

こころの健康づくり・自殺防止対策事業 心といのちを考えるフォーラム

日時：11月20日(日) 開演 午後1時30分
会場：藤里町総合開発センター(山本郡藤里町藤琴)
講演：「せめぎあって、折り合って、お互いさま」

—聴聞(リスニング)で人は変わる—

講師：富田 富士也 氏

(子ども家庭教育フォーラム代表 教育・心理カウンセラー)

寸劇：「生きるチカラ」 出演/「心といのちを考える会」会員

入場料：無料

問 心といのちを考える会(主催)

事務局 TEL 0185-79-1522

11月27日(日)

子育て支援セミナー

日時：11月27日(日) 午後1時～午後3時30分
会場：能代山本広域交流センター(能代市)
講演：「母親一人の「孤育て」から皆で支える「子育て」へ」
講師：大日向 雅美 氏(恵泉女学園大学・大学院教授、
港区子育てひろば「あい・ポート」施設長)

紙芝居・人形劇：女性ボランティアのぞくの会

入場料：無料(定員200名 先着順)託児あり

主催：秋田県、能代・山本地域ハーモニー懇話会

問 申 秋田県山本地域振興局福祉環境部企画福祉課

TEL 0185-55-8020 FAX 0185-53-4114

秋田県山本地域振興局総務企画部地域企画課

TEL 0185-52-6285 FAX 0185-55-2296

12月17日(土)18日(日)

北の演劇祭開催

北東北3県の演劇団体や高校演劇部が発表・交流。

日時：12月17日(土) 開場10時15分

秋田県立大館高等学校演劇部

劇団「やませ」(青森県八戸市)

18日(日) 開場10時15分

弘前学院聖愛高等学校演劇部

劇団「ZENT-YOYO-CLUB」(岩手県花巻市)

会場：康楽館(鹿角郡小坂町)

入場料：大人1,000円(両日共通入場券)

高校生以下無料

問 「北の演劇祭」実行委員会(主催)

事務局/小坂町七滝公民館内

TEL 0186-29-3411 FAX 0186-29-5330

※地域のきらめき発掘事業補助金を受けています。

11月20日(日)

CAPワークショップ

子どもを暴力から守るための具体的な方法を学ぶ、
大人向けワークショップ

日時：11月20日(日) 午後2時～午後4時

会場：能代山本広域交流センター(能代市)

主催：秋田県おやこ劇場連絡会

参加費：無料(大人対象です)

問 能代おやこ劇場 事務所

TEL & FAX 0185-54-5877(火・金 午前10時～正午のみ)

※地域のきらめき発掘事業補助金を受けています。

11月26日(土)

地域における心の健康づくり講演会

～みんなでつくろう、支え合いのネットワーク～

日時：11月26日(土) 午後1時

会場：大館市立中央公民館(大館市桜町南)

講師：佐々木 久長 氏(秋田大学医学部保健学科 助教授)

参加費：無料(申込が必要)

主催：地域における心のセーフティネット

問 申 事務局 北秋田地域振興局大館福祉環境部

TEL 0186-52-3952 FAX 0186-52-3911

12月17日(土)

平成17年度両親教室 家庭教育支援総合推進事業・妊娠期子育て講座

第2回いのちのはぐくみ講座

あなたの産む力の咲かせ方。あかちゃんの素晴らしい
力を実感！出産・子育てのパワーにつながります。

日時：12月17日(土)

会場：北部男女共同参画センター(大館市字大町)

講師：菅原 光子 氏(日本助産師会秋田県北秋支部)

問 秋田県北NPO支援センター(主催)

TEL 0186-49-8553 FAX 0186-49-8589

「車座会議」実施しています

能代市・ニツ井町の市民活動団体、NPO(非営利
組織)、行政職員など多様な主体が集まり、地域の課
題や活動上の課題等について話し合い、お互いの役
割分担や解決方法を考える車座会議を開催しており
ます。

詳しくは下記までお問い合わせください。

問 秋田県生活環境文化部地域活動支援室

TEL 018-860-1520

地域づくり基本指針(仮称)の 策定に向けた意見交換会 (県北地区)開催・参加者募集!

秋田県では、県民のみなさんが自発的に取り組んでいる多様な活動と連携・協働しながらいつまでも心豊かに、そして健やかに生活できる地域づくりを目指して、その基本指針を策定する予定です。この策定に向けて、意見交換会を行いますので、積極的にご参加ください。

日時:平成17年12月1日(木) 午後1時～午後5時

場所:たかのす風土館会議室(北秋田市)

テーマ:「秋田県における地域づくりについて」

※協議は、ワークショップの後、全体会で意見集約を行う予定です。

問 申し込みは11月24日(木)まで

地域活動支援室 TEL 018-860-1519 または

北部市民活動サポートセンター TEL 0186-49-8553

「秋田のピカ☆いち」 候補団体募集中!

県内の地域資源を活用して創意工夫を活かし、地域の賑わいの創出や、活性化に顕著な功績のあった団体を募集しています。賞金は〈最優秀賞〉1点 20万円
〈優秀賞〉2点 10万円〈入選〉2点 5万円

応募締切:11月30日(水)必着

主催:秋田県商工会議所連合会

問 秋田商工会議所内「秋田のピカ☆いち」決定戦

事務局 TEL 018-866-6670

<http://www.akitacci.or.jp/>

「県との協働及び地域づくり等 についての調査結果」について

今年6月に市民活動情報ネットに登録されている団体585団体を対象に上記アンケートへの協力をお願いしたところ、170団体から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。調査結果については、地域活動支援室のHPで情報提供しておりますのでご覧ください。なお、掲載内容に関する照会は、地域活動支援室までお願いします。

問 秋田県県民文化政策課地域活動支援室

TEL 018-860-1519

<http://www.pref.akita.jp/seikatu/npo/shishin/shishin.2.htm>

チャレンジプラン募集& ワークショップ開催

より充実した防災教育の取り組み(プランの開発・実施、教材の開発・作成、連携体制の構築など)を行っている、あるいは行いたい学校・団体、個人をサポートするとともに、情報交換の場を提供します。

〈サポート内容〉◆サポート費用の提供(上限30万円・プランの内容によって変動)◆プラン進行や教材作成にあたっての情報提供・アイデア提供・資材提供等◆講師・インストラクター等の紹介・派遣等〈サポート主体〉「防災教育チャレンジプラン実行委員会」及び委員会が紹介する諸団体・個人

応募締切:平成18年1月15日(日)

問 防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局

TEL 03-3264-8848 <http://www.bosai-study.net>

【ワークショップ開催】

平成18年2月18日19日 会場:建築会館ホール

現在「2005年度防災教育チャレンジプラン」に選出された20プランが進行中。1年間のチャレンジの成果発表と表彰を行います。

「くりっぷ」と ボランティアしませんか!

ボランティアグループ「くりっぷ」は能代市中央公民館で、館内に掲示する毎月のカレンダー作りや情報誌作りのお手伝いをしています。また、生涯学習ボランティアとして子ども達とのふれあいもあります。ぜひ、一緒に楽しみませんか。

問 能代市中央公民館 TEL 0185-54-8141

第2回「田舎」懸賞論文募集

「田舎」の現状と将来について若者が何を感じ、どう考えているのか自由に論じた4000字程度の論文を募集するもの。応募資格は、年齢18才～30才まで。但し大学生、大学院生、専門学校生は年齢を問いません。金額は【最優秀賞】1名:10万円と副賞【優秀賞】1名:5万円と副賞【佳作】3名:1万円と副賞

応募締切:平成18年1月31日(火)

問 NPO 共育学舎 TEL 0735-47-2160

<http://www.5e.biglobe.ne.jp/~shizen/sub.7-41/sub.7-41.htm>

第30回「^{かすのう}數納賞」

児童の健全育成に関し、児童福祉施設(児童館、児童養護施設等)、地域組織(母親クラブ、子ども会、放課後児童クラブ等)、家庭相談員、里親等の活動の具体的実践報告を表彰するものです。応募原稿は、400字詰原稿用紙換算で本文30枚(12,000字)程度、また、原稿以外に報告の概要(1,200字程度)の提出が必要です。

金額：入賞者には賞状と賞金(數納賞30万円、同佳作各5万円)。佳作に準ずると評価された報告には、選外ながら特に「奨励賞」賞状と賞金(3万円)。

申込締切：平成17年11月30日(水)

問 財団法人 児童健全育成推進財団

TEL 03-3486-5141

<http://www.jidoukan.or.jp/new/new.php>

第5回(2006年度)高木基金助成

国内の個人・グループへの調査研究助成

「市民科学」にふさわしい調査研究や、その調査研究と密接に関係するワークショップ・シンポジウムなどの開催費、調査研究の成果発表にかかわる諸費用等を助成するものです。助成対象となる個人・グループは、「市民科学」をめざす人であれば、資格等の制限はありません。一般の市民や市民グループも応募の対象となります。

助成額：募集総額 650万円(1件あたり200万円を上限)

応募締切：平成17年12月10日(土)

問 特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金事務局

TEL 090-3435-9513(菅波)

http://www.takagifund.org/03/05_yoko.html

日本都市計画家協会 協会賞

まちや地域づくりの取り組みに成果を挙げた市民、団体、企業、地方自治体等の取り組みを表彰し、まちづくりの理念と実践の拡大に寄与することを目的としています。対象は、個人、法人、各種団体、NPO、大学等の教育機関、コンサルタントおよび地方公共団体等が行った、または、行っているまちづくりの取組みで、自薦・他薦は問われません。詳しくは、募集内容と応募要項を参照し

てください。

助成額：総額100万円(大賞総額50万円、特別賞各10万円)

応募締切：平成17年12月31日(土)

問 特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

TEL 03-5401-3359(伊達、濱中)

<http://www.mmjp.or.jp/jsurp/prize/kakyokaisyo.htm>

平成18年度 花博記念協会助成金

平成2年に大阪・鶴見緑地で開催された、国際花と緑の博覧会の基本理念の継続発展・普及啓発につながる研究開発や活動などを支援し、潤いのある社会の創造に寄与することを目的としています。

対象団体：公益法人やNPO法人のほか、任意団体も対象となりますが、活動実績が2年以上あることなど一定の条件があります。

助成額：事業実施に直接必要な費用(助成対象経費)の総額の2分の1以内【調査研究開発】一件当たり100万円以内【活動・行催事】一件当たり50万円以内

申込締切：平成17年12月12日(月)

問 財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会

TEL 06-6915-4516

<http://www.expo90.jp/>

平成18年度 JATA 環境基金

「地球にやさしい市民活動支援助成」

観光地における「自然や文化遺産を保全/保護する事業」、「環境に配慮した観光の発展に寄与する事業」に対し助成されます。対象は、日本国内に事務所を有する、市民主導のボランティア団体で、活動場所が国内外の観光地内であることが条件です。NPO法人格の有無は問われませんが、特に、海外活動への助成を申請する団体の場合は、NPO法人格を有していることが条件です。

助成額：原則として1団体につき100万円を限度に助成

申込締切：平成17年12月20日(火)

問 社団法人 日本旅行業協会 JATA業務部業務第2グループ TEL 03-3592-1275

<http://www.jata-net.or.jp/>

NPO 交差点

輪を広げるために

本年度、環境省により外来生物法が施行されるなど、外来魚等の規制が行われています。バスフィッシングブームに伴い活発な活動を行ってきた特定非営利活動法人ヘブンのこれまでの取り組みと今後についてお聞きしました。

活動のきっかけはなんですか？

「平成13年バスフィッシング絶頂期に釣人がもたらす観光経済効果と引き換えに弊害も多々発生し、地域との摩擦が起こり、その弊害を解決し、観光遊魚をまちづくりに役立てようと『NPO法人ヘブン』は誕生しました。」

どんな問題ですか？

「一番の問題は、湖岸に放置されたゴミです。年間4～6回のクリーンアップイベントを開催し、平成14年度には総計17tに及ぶゴミを回収しました。2年前からは釣りを楽しむ同士の交流も図るために『八郎湖守ろう協議会』や『秋田巨鯉釣り浪漫倶楽部』と合同清掃に取り組んでいます。」

もう一つは、バスフィッシャーマンの使用するボートによる魚網の切断等の問題です。そこで、独自に魚網の設置時期や設置状況を記したパンフレットを作成・配布し、



当初は4t車満載のゴミが収集されたが、現在は1/4に減少



真剣の環境美化に取り組んでいるバスフィッシャーマン



クリーンアップ後に別会場で行われた八郎湖の利用方法、釣り人のマナー、釣りセミナーの様子

マナー向上の啓蒙活動をしてきました。」

今後の展望をお聞かせください。

「大切なことは、内輪だけの集まりだけで止めず、大きな輪に広げていくこと。自らが垣根を越えた感性を持ち、まちづくりに役立つような健全な釣り場づくりに励みます。」

八郎湖のように人間が生み出した様々な現状を目の当たりにし、私たちにできることはなんでしょう。ひとりひとりが自然と向き合い、ささやかなことでも、とにかくはじめることではないでしょうか。ぜひ、これからは八郎湖で活動している多くの人とさらに連携を取り、輪を広げていただきたいです。

環境省の外来生物法について

詳しくは <http://www.env.go.jp/nature/intro/2/gaiyou.html>

秋田県漁場管理委員会指示について

詳しくは <http://www.pref.akita.jp/suisangy/bbhp.htm>

★外来生物について調べてみよう!

環境省の「こどものページ」

<http://www.env.go.jp/nature/intro/kids/index.html>

秋田県の「バーチャル未来科学館

<http://www.pref.akita.jp/kagaku/2/f/doubutu/1/menu/2/a.html>

NPO 法人 heaven(ヘブン)

◆会長/進藤 偉美 ◆設立/平成13年 ◆会員/75名

問 山本郡琴丘町天瀬川字三倉鼻90-1

TEL 0185-87-3301 FAX 0185-87-4031

★★★★ お知らせ ★★★★★

10月1日より12月31日まで試行期間とし、北部男女共同参画センターが毎週木曜日定休日となりました。また、11月1日より平日の開館時間が午前9時～午後7時になります。それに伴い、北部市民活動サポートセンターの相談日が下記の通り変更になります。

<相談日時>

月・火・水・金曜(午前9時～午後6時)

土・祝日(午前9時～午後5時)

<編集後記>子どもは多くの体験を通してどんどん成長しています。地獄は薄れていますが、多くの人と係わることはとても重要です。普段はなかなかやる気をだせないけれど、発表会の本番はバッチリ決めていました。みんな上手でしたね。子どものパワーを改めて実感。

北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。

北部市民活動サポートセンター(北部男女共同参画センター内)

情報をお待ちしています

県北のボランティア・NPO活動の情報をどんどん紹介します。電話やファックス、メールで情報をお寄せください。活動の輪を広げましょう。

また、北部男女共同参画センターでは、貸室(研修室・グループ活動室)、本・ビデオの貸出、交流サロン、ロッカー、印刷機・コピー機の利用ができます。

〒017-0841

秋田県大館市字大町57

TEL 0186-49-8553

FAX 0186-49-8589

<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>

E-mail angec1@io.ocn.ne.jp

